

岡山県農林水産総合センター 畜産研究所

平成22年4月、農林水産部関係試験研究機関を再編統合し、「農林水産総合センター」を赤磐市に設置しました。



センターの役割

めまぐるしく変化する社会経済情勢に応じて、多様化する農林水産業者や消費者のニーズへの確に対応し、食料自給率の向上や自然環境の保全、水源のかん養、文化の伝承、さらには地球温暖化対策など、多面的機能を有する農林水産業を支える技術の開発と普及に取り組むとともに、担い手等を育成する総合的な機関として活動しています。

畜産研究所は、畜産や畜産物に関連する技術開発や普及の拠点として、資源循環型畜産の構築や生産性向上のための試験研究を行うとともに、優良家畜や精液、受精卵などの供給事業にも取り組んでいます。

身近で開かれた試験研究機関として、当センターが開発した安全・安心な農林水産物の生産・供給等に関する新技術の開発等を紹介するため、各研究所において、施設の一般公開やセミナーの開催など農林水産業への理解につながるよう努めています。

試験研究の基本的考え方

県民ニーズを踏まえ、基本的な4つの柱を中心に、他機関と連携しながら研究を進めています。



経営技術研究室

企画開発グループ

- 試験研究の企画調整、成果の広報
研究課題の設定や共同研究や連携協定に関する調整、およびその成果をHP等により普及
- 研修・視察の受入
畜産農家、技術者、小学生などの研修・見学の対応
- 畜産物の利用技術
新しい加工製品の開発と技術相談
- 農業大学校旭分校の運営
畜産コースの学生教育



環境研究グループ

- バイオマスの利活用技術
家畜ふん尿や未利用資源の有効活用による水素・メタン発酵システムの開発とエネルギー効率の高い燃料電池への活用方法を検討
- 温暖化防止技術
家畜ふん尿から発生する環境負荷ガスの発生要因の分析と低コスト抑制技術を開発



改良技術研究室

育種改良研究グループ

- 優良種雄牛の造成と凍結精液の生産供給
DNAマーカー等を利用した効率的な選抜を行い優良種雄牛を早期に作出
- 黒豚種豚の改良と液状精液の生産供給
おいしい黒豚肉を生産するため改良推進
- おかやま地どりの改良と素びなの生産供給
生産者が求める形質の地どり改良促進



繁殖システム研究グループ

- 受精卵移植技術を活用した牛群の改良推進
生産性の高い乳、肉用牛から採卵した性判別済受精卵を農家へ供給し牛群の改良を促進
種雄牛作出のため候補牛を生産育成
- 効率的な受精卵生産技術
過剰排卵時の最適授精時期や受精卵の品質判定技術を検討



飼養技術研究室

生産性向上研究グループ

- 効率的で低コストな牛哺育育成技術
安全・高品質な粉末初乳や哺乳ロボット、稲WCSを用いた効率的哺育育成プログラムを開発
- 耕作放棄地等への低コスト和牛放牧技術
IT（情報通信技術）を活用し、和牛放牧に適した遠隔管理システムを開発
- 岡山和牛発育の分析
市場出荷時の発育調査と分析を実施



飼養管理研究グループ

- 地域未利用資源の有効利用技術
食品製造副産物を用いた発酵混合飼料（発酵TMR）、稲WCS及び飼料米の飼料価値評価、現地実証の実施
- 生産物の品質改善技術
岡山県の特産品であるジャージー牛乳の品質を向上させる技術を開発
- 牛群検定情報の分析

